

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2017は2017年度まで納入済み。

## しのばず自然観察会より 2017-08 2017.09.17

### 2017年9月の活動 その2 第6回『上野しのばず学習会』

テーマ：上野公園の歴史5：公園制定過程と諸事情

明治6年の公園制定の太政官布達の前夜、新政府の内部での上野公園の陣取り合戦、諸開発計画をかい潜って、上野公園は誕生しました。詳細は別紙を参照。

と き：9月30日(土) 午後1時45分開場 学習会午後2時 - 4時

場 所：「谷中の家」台東区谷中3-17-11

共 催：しのばず自然観察会、上野のお山を学ぶ会

参加費：両会の会員は無料、会員外200円(資料代)

### 2017年10月の活動 神代植物公園見学

と き：10月22日(日) 小雨実施

集 合：神代植物公園正門前 午前10時

交 通：◎京王線調布駅から、小田急バス吉祥寺駅または三鷹駅行き「神代植物公園前」下車、または京王バス深大寺行き「神代植物公園」下車

あるいは◎京王線つつじヶ丘駅から、京王バス深大寺行き「神代植物公園」下車、

あるいは◎JR中央線三鷹駅または吉祥寺駅から、小田急バス調布駅北口または深大寺行き「神代植物公園前」下車

バスの乗車時間はいずれも約20分程度、吉祥寺発9:30、三鷹発9:25、調布発9:34 小田急・9:40 京王、つつじヶ丘発9:39がおすすめ)

参加費：200円 ほかに植物園入園料500円(65歳以上は250円 要年齢証明)

持ち物：弁当、飲み物、筆記用具、雨具、敷物、あれば双眼鏡

10月の観察会は神代植物公園を訪ね、武蔵野風の自然の風情を楽しみましょう。帰りは分園になっている湿地や戦国山城の遺構を巡ります。近くに日本野鳥の会創始者・中西悟堂さんの碑や、深大寺、お蕎麦屋さんもあります。

しのばず自然観察会のホームページのURLが替わりました

新アドレス <http://sinobazu.extrem.ne.jp> (旧サーバーのサービス終了のため)

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方 1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <a href="http://sinobazu.extrem.ne.jp">http://sinobazu.extrem.ne.jp</a> 郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費
--

\*\*2016年以前の会費未納の方も忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。\*\*

## 2017年8月の活動 不忍池 蓮見 より

8月13日(日)、不忍池の蓮見に10名が参加。この日は暑い日でしたが、7月が暑く、8月がやや涼しかったためか、ハスの花はピークを過ぎた感じでした。不忍池のハスは桃色の花ですが、蓮池で白い花を見つけました。参加した腰塚昭温さん(元つくば大学、しのぼず自然観察会創始者のひとり)の解説によると、ハスは虫媒花で、花の色は桃色(赤系)が優性、白が劣性とのこと。それで赤系の花ばかりの中に、突然白系が出現することもあるそうです(メンデルの遺伝・分離の法則を思い起こしましょう)。ハスは地下茎(蓮根)が冬を越して生き残るので、そのクローンが占める一角が白花ばかりになることもあるそうです。ただ、赤系と白系とはそれぞれ一つだけの優劣遺伝子支配ではないらしく、この日見つけた白花も、花卉の輪郭に細い赤筋がほのかに見られました。トンボ類では、ウチワヤンマが復活し、真っ赤なネキトンボも再度見られました。



赤色系の花



白色系の花



ウチワヤンマ



ネキトンボ



修理中のイソップ橋両脇のタブ

せっかく西園に移殖したタブの大木が3年前に撤去されて、心配続く動物園工事の影響ですが、イソップ橋両脇の2本と清水谷の1本のタブ大木は残り、芸大との境の1本はこの日も確認できず、失われたと判断しました。8月22日に動物園工事課より、園内工事の概要について実地説明があり、こちらからの不安も伝えました。(小川)